



望郷の家（左）／北方館（右）

北方館

（昭和55年8月開館）

北方館は、北海道根室市の根室半島最東端・納沙布岬に位置しており、北方領土返還要求運動の原点の地で、目の前に広がる日本固有の領土である北方の島々を望みながら、北方領土問題の発生の状況や歴史的経緯を展示資料によってご覧いただき、返還運動への皆様の深いご理解とご参加を得て、より一層の国民世論の高揚を図り、一日も早い北方領土の返還実現をめざすために開設しております。

望郷の家

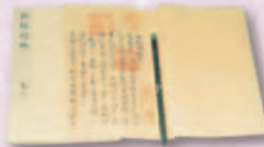
（昭和47年4月開設）

第2次世界大戦後、北方領土の島々を追われた元島民の心の拠り所として開設され、戦前の島民の生活関連資料や島々における街並みや住居表示を折り込んだ地図などが展示されています。



北方領土返還運動のシンボルの花
【チリッパ】

◆歴史が語る北方領土



北様間略（ホクサブンリヤク）



日魯通好条約
（1855年・下田条約）

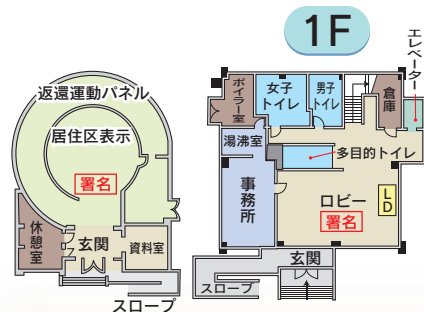
第二ヶ条
今より後日本国と魯西亜国との境「エトロフ島」と「ウルップ」島との間に在る「エトロフ」全島は日本に属し「ウルップ」全島はより北方「クルル」諸島は魯西亜に属す「カラフト」島に至りては日本国と魯西亜国との間に於て界を分たす是迄仕来の通たるへし



辺要分界図考（へんようぶんかいずこう）
近藤重蔵写生図（1804年）



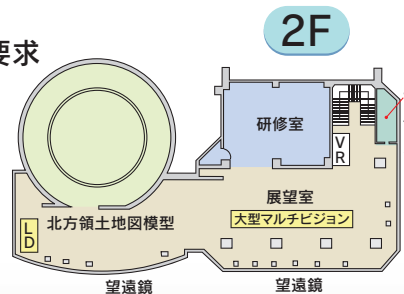
北方領土について
記述されている古文書



1F

北方領土返還要求署名コーナー

北方領土の一日も早い返還を実現するためには、皆様の声がなによりも大切です。ご協力をお願いいたします。



2F

施設構成

北方館

- 1階 ロビー・化粧室・事務室
- 2階 展望室・望遠鏡(無料)・古地図・条約・陳情書・古文書・研修室

望郷の家

- 1階 運動の歴史・居住区表示
- 2階 展望室・望遠鏡(無料)・魚類剥製・北方領土地図模型

※全館バリアフリー（エレベーター・身体障害者用トイレ・車椅子用スロープ・車椅子完備）
チャイルドシート・ベビーキープ・フィッティングボード



1階ロビー



2階展望室



テレビ望遠鏡



望郷の家・2階展望室



望郷の家・1階フロアー



ラッコ



研修室

北方領土とは……!?



私たちが「北方領土」と呼ぶのは、^{えとろふ}択捉島、^{くなしり}国後島、^{しこたん}色丹島、^{はばまい}歯舞群島（^{たらく}多摩島、^{しほつ}志発島、^{ゆり}勇留島、^{あき}秋勇留島、^{すいしやう}水晶島、^{かいがら}貝殻島）の四島です。

など）の四島です。

島の気温は、海洋気象の影響を受けて寒暑の差が緩慢です。年平均気温は4.5度程度で、月の平均気温が10度以上になるのは、6月から10月に及ぶ5か月間で、盛夏の8月は16度、夏季平均は13度ほどです。また、冬の平均気温は零下5度から6度ほどで、これは根室地方と大差はありません。

戦後、日本政府は一貫してこれら四島の早期返還をロシア（ソ連）に対して要求し続けてきました。しかし、1956年（昭和31年）、日ソ共同宣言が署名され、両国間に国交が再開されたにもかかわらず、その返還ははまだ実現しておりません。

北方領土は、古くから私たちの固有の領土として受け継いできたもので、歴史的にも条約的にみても、日本固有の領土です。

北方領土問題の解決は、両国間の最大の懸案であり、日本とロシアの真の友好関係を確立するためには、四島の日本への返還を一日も早く実現し、平和条約を締結する必要があります。

そのためには、皆さん一人ひとりが北方領土問題に対する正しい理解と認識を深めていただき、外交交渉の支えとなるよう全国民の声を結集する必要があります。



国後島の材木岩



またこたんわん
色丹島の又古丹湾



ちりっつさん
択捉島の散布山